

業務状況説明書

(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)

富士見市下水道事業

1 平成30年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

本年度の上半期は、前年同期と比較して水洗便所化人口で、1,068人(1.02%)の増加となっており、1日平均処理水量は6m³の減少、有収水量は、18,128m³の増加となっております。

年度 区分	平成30年度 上半期	平成29年度 上半期	比較	
			増減	増減率(%)
水洗便所化人口(人)	105,656	104,588	1,068	1.02
1日平均処理水量(m ³)	32,195	32,201	△6	△0.02
有収水量(m ³)	5,201,754	5,183,626	18,128	0.35

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、砂川堀第4-2処理分区(大字勝瀬地内)及び江川第3処理分区(鶴瀬東1丁目地内)の管渠築造工事を実施しています。雨水事業につきましては、新河岸川第五排水区(別所堀)の幹線管渠工事を実施しています。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第14処理分区及び新河岸第16-1-1処理分区(大字南畑新田地内)の管渠築造工事を実施しています。

(2) 経理の状況(税込)

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

収入				支出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
事業収益	1,804,621	581,673	32.23	事業費	1,544,056	223,766	14.49
営業収益	1,272,003	579,567	45.56	営業費用	1,362,129	137,570	10.10
営業外収益	532,617	1,881	0.35	営業外費用	180,887	86,189	47.65
特別利益	1	225	22,532.40	特別損失	540	8	1.48
				予備費	500	0	0.00

イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

収入				支出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	967,751	65,105	6.73	資本的支出	1,870,428	609,359	32.58
企業債	799,800	0	0.00	建設改良費	1,015,083	250,156	24.64
国庫(県)補助金	98,520	0	0.00	企業債償還金	747,581	359,203	48.05
負担金	69,431	65,105	93.77	予備費	1,000	0	0.00

2 平成29年度決算の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

事 項	平成29年度		平成28年度		比 較			
	増	減	比	率	増	減	比	率
現在処理区域内人口(A)	109,050	人	108,629	人	421	人	100.39	%
行政区域内人口(B)	111,016	人	110,650	人	366	人	100.33	%
普及率(A)/(B)	98.23	%	98.17	%	0.06	%	—	
水洗便所化人口(C)	105,187	人	103,893	人	1,294	人	101.25	%
水洗便所済戸数	53,320	戸	52,340	戸	980	戸	101.87	%
水洗化率(C)/(A)	96.46	%	95.64	%	0.82	%	—	
年間処理水量	12,346,734	m ³	11,919,078	m ³	427,656	m ³	103.59	%
年間有収水量	10,388,612	m ³	10,261,454	m ³	127,158	m ³	101.24	%
1日平均処理水量	33,827	m ³	32,655	m ³	1,172	m ³	103.59	%

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、柳瀬第9処理分区（大字水子地内）を541.2m、柳瀬第10-1処理分区（大字水子地内）を22.1m、江川第4処理分区（大字水子地内）を172.6m、それぞれ単独事業として合計735.9mの管渠築造工事を実施しました。

雨水事業につきましては、新河岸川第五排水区の幹線管渠（別所堀）（□1600×1600、□2200×1700）を国庫補助事業として89.4mの管渠築造工事を実施しました。

次に、特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第14処理分区（大字下南畑）を国庫補助事業として709.1m、単独事業として858.9m、新河岸第12-2-2処理分区（大字上南畑、大字勝瀬地内）を国庫補助事業として708.1m、合計2,276.1mの管渠築造工事を実施しました。

(2) 経理の状況

ア 収益的収入及び支出

収入総額は1,773,596,526円(税込金額1,847,998,103円)で、前年度より2.21%の減となっております。

下水道使用料については、930,085,168円(税込金額1,004,491,971円)となり、前年度と比較して1.36%の増となりました。

支出総額は、1,478,433,999円(税込金額1,523,730,340円)で、前年度よりも0.13%の減となっております。

この結果、純利益295,162,527円を計上しております。

イ 資本的収入及び支出

収入総額 833,884,760円(税込金額834,015,500円)に対して、支出総額は1,462,136,706円(税込金額1,510,054,145円)となりました。

この結果、税込収支における差引不足額は676,038,645円となり、この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額29,105,236円、過年度分損益勘定留保資金565,584,586円及び当年度分損益勘定留保資金81,348,823円で補填しております。

収益的収入及び収支(税抜)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
事業収益	1,773,596,526	100.00	事業費	1,478,433,999	100.00
営業収益	1,241,351,835	69.99	営業費用	1,273,915,578	86.17
営業外収益	528,774,291	29.81	営業外費用	203,346,020	13.75
特別利益	3,470,400	0.20	特別損失	1,172,401	0.08

資本的収入及び収支(税込)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
資本的収入	834,015,500	100.00	資本的支出	1,510,054,145	100.00
企業債	503,200,000	60.34	建設改良費	729,877,422	48.33
国庫(県)補助金	135,310,000	16.22	企業債償還金	780,176,723	51.67
負担金	195,505,500	23.44			